

努力のプロセス等の活動報告書

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、競技会やイベント・資格検定試験などで中止や延期、出場辞退等となっているものも少なくありません。そのような状況の中で、出願者自身の「目標」に向けたこれまでの「取り組み」や「努力とそのプロセス」を面接の中で評価していくための資料として、この「活動報告書」を使用します。

記入上の注意

- ・高等学校等在学中などに目指していた事柄がある場合は、主な活動を1つを選び以下の各欄に記入してください。
- ・該当する事柄が無い場合でも氏名等を記入し、下欄1の「該当なし」欄に○を記入してください。
- ※ 目標とする検定等や大会などが中止・延期となった場合でも、それに向けて既に所有している関連の資格・成果などがある場合は、そのコピーを添付してください。
- ※ 記入にあたっては、油性黒のボールペンで記入（消せるボールペンは不可）。

氏名等	ふりがな	性別 (○を付す)	(記入不要 ※大学使用欄)
	氏名	男・女	

1. 目標として取り組んでいた事項（文化・学術活動、スポーツ活動、生徒会活動、地域社会活動等）

※ 競技会・大会、コンクール、資格・検定試験、ボランティア活動ほか

該当なし	■ 目標としている事項	■ 実施・開催の状況
	(記入例1) 英検2級合格を目指している(英検準2級〇年〇月〇日の検定合格)。	〇月〇日に受験予定が中止
	(記入例2) 地方大会を勝ち抜き、第103回全国高校野球選手権大会へ出場	地方大会への出場を辞退することになった。

2. 上記1の目標達成(もしくは成果獲得)に向けて計画・努力してきた取り組み (時系列で整理し端的に記載すること)

3. 上記2に記載の「取り組み」によって、得られたもの (「客観的なもの(成果)」であつてもよいし、「主観的なもの(自身の成長など)」でもよい。)

4. 上記3で、得られたもの(こと)から、今後の自身の成長や大学での勉学に見込まれる影響や効果